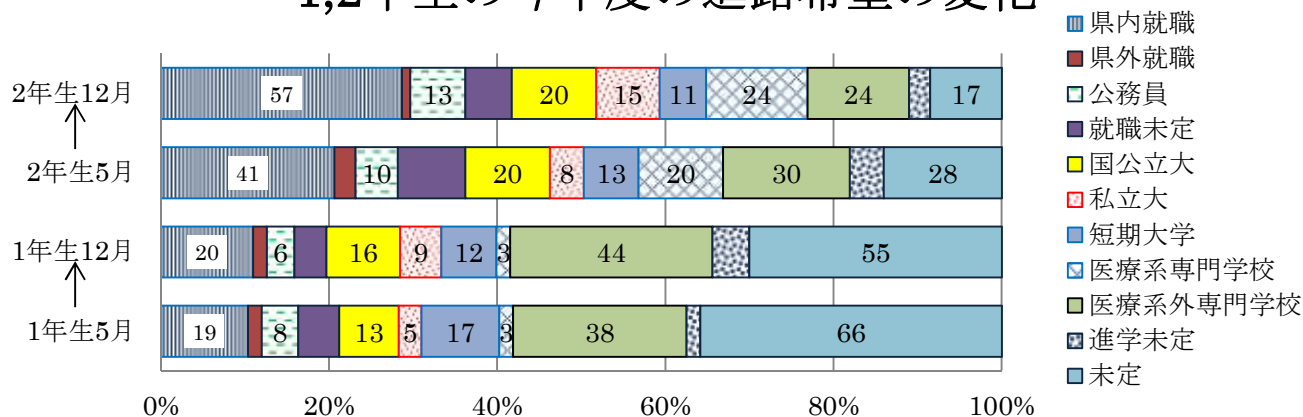


第9号では、進路希望調査の結果をもとに、1, 2年生がいつから何をすべきかを考えていきたいと思えます。

◆ 1, 2年生 12月進路希望調査の結果

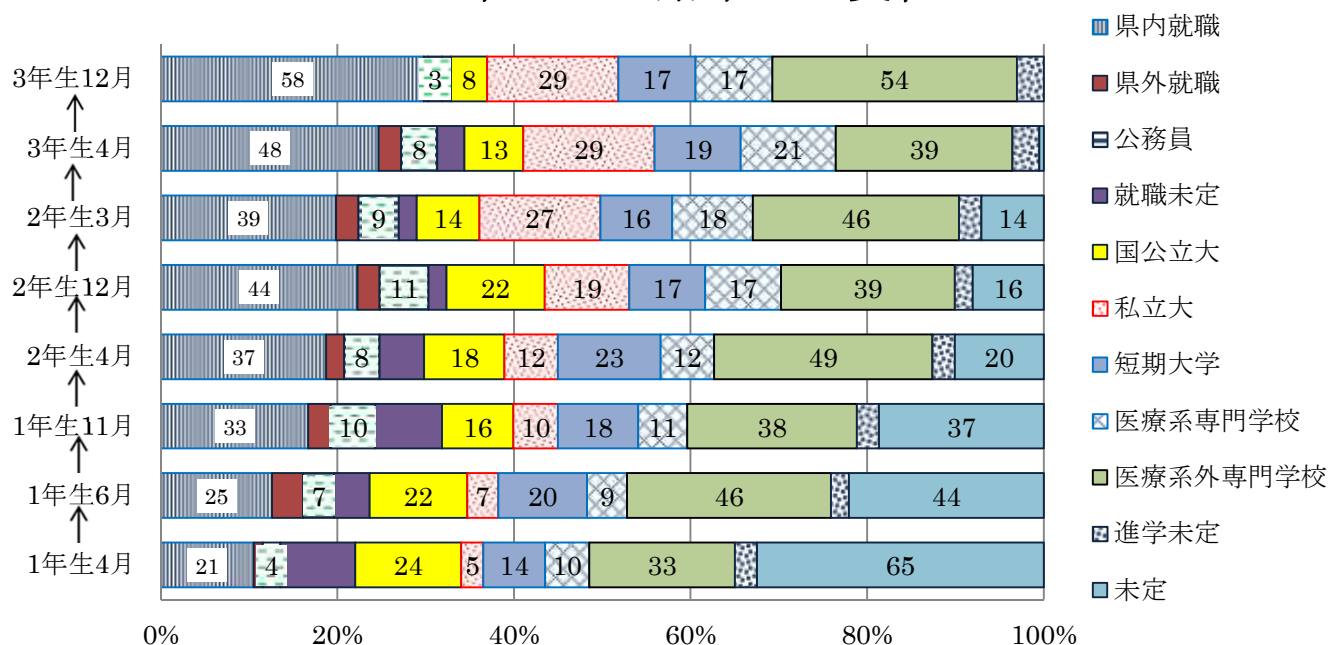
1,2年生の今年度の進路希望の変化



今年の1年生, 2年生の1回目(5月)と2回目(12月)の進路希望調査の結果が上のグラフです。1, 2年生とも未定と回答した割合が1回目より減っています。進学, 就職いずれの場合も, 早く決めて準備をした方が進路実現の可能性が高くなります。就職希望者は1年生の5月には 10.3%ですが, 2年生の12月では 28.6%に増えています。これは例年の傾向で, 3年生になるとさらに増えると予想されます。下に, 今年度の3年生の進路希望が入学時から進路決定まで, どのように変化していったかをグラフで示します。

◆ 3年生 入学時からの進路希望の変化

3年生の進路希望の変化



入学時は国公立大学を目指していたものの, 評定平均値が推薦基準に達しなかったり, 指定された資格が取得できなかったために断念し, 私立大学に志望を変えた生徒が少なからずいました。私立大学は学費が多くかかりますので, 保護者の方と2年の3学期には相談しておく必要があります。必要な情報は進路指導部で提供します。

今年の2年生は公務員希望者が多いですが、採用試験一次は知識のテストです。校内で公務員対策講座、公務員模試を行っているのでできる限り参加することを薦めます。ただし、それだけでは十分とは言えませんので今から自分で問題集を買って、毎日少しずつ学習する必要があります。

推薦に用いる**評定平均値**は1年、2年、3年の1学期の全科目の5段階評定の値を平均して求めます。**普段の授業**を大切に、**提出物**は期限を守って必ず提出するようにしてください。詳しいことは「**進路の手引**」の18ページに載せてありますのでご覧ください。

また、3年生になってからの就職・進学**の進路会議**(校内選考会議)の資料としては、前述の評定平均値の他、年に2回実施される**実力診断(判定)テスト**の結果も反映されます。自分の進路を左右する大切なテストですので、事前学習に真剣に取り組んで欲しいと思います。**資格取得**も重要です。履歴書にも記入欄がありますので、なるべく多く検定を受検し、資格を取得できるよう努力しましょう。

進学の推薦条件や就職の採用条件に**欠席数**が限定される場合があります。3年間で10日以内などという場合もありますので、健康にも十分配慮してください。

◆進路情報の入手法	今後の進路行事
-----------	---------

1年生で就職か進学かを決め(自分を知り、職業や学問を知る)、2年生で学部・学科や職業の職種を決め、3年生で具体的な学校や職場を決めるのが一般的な流れです。そのために、学校ではLHRなどを使って進路学習を行い、さまざまな進路行事を行っています。年に数回行っている個人面談やアンケートで1人ひとりの進路について、希望が変わった場合や、新たな情報が必要な場合は、生徒の皆さんから申し出てください。

そのような場合、進路指導部の先生に相談する。業者が主催する進路相談会に参加する。オープンキャンパスに参加して、学生や先生に話を聞くなどの方法もあります。

進路は早くその気になって取り組んだ人ほど、十分な調査が出来てしっかり準備できます。面談などである程度の情報を得たら、あとはどんどん自分で調べていくことを薦めます。

まず各自が持っている「**進路の手引**」で自分に関係するところを読んでみましょう！

各クラスには「**螢雪時代**」が置いてあります。大学の特徴、学部・学科の違い等詳しく説明してあります。また、2年生の教室には前年の求人票のファイルが設置されており、興味関心のある職種や企業を探すのに役立ちます。インターネットでベネッセ「**ハイスクールオンライン**」などを検索すると、進学情報を得るのに便利です。自分の将来のことですので、先送りにせず自分で初めの一步を踏み出しましょう。

- 【2月】
- ◆2年 先輩の合格体験談を聞く会
2月9日(火)
芸術棟ホール
 - ◆1, 2年 作文/小論文トレーニング
2月10日(水)
 - ◆3年 就職内定者合同研修 2月17日(水)
松江合同庁舎
- 【3月】
- ◆2年 地元企業説明会
3月10日(木)
芸術棟ホール
 - ◆2年 進路ガイダンス
3月11日(金)

◆先輩からのアドバイス② ～2年進路座談会より～

11月11日(水)の5～7限に2年生に対して進路座談会が行われました。松江商業卒業後2年目の二十歳の先輩で、進学者4名、就職者5名が約1時間の講演後、質疑応答が行われました。第8号では進学関係を掲載しましたので、第9号では就職した先輩からのアドバイスを載せます。

山陰合同銀行

簿記などの商業科目が得意だったので、それを活かせる仕事がいいなと思っていました。企業説明会に参加して「多くの人と接することを大切にしている」と担当の方から説明を受けて、魅力を感じて就職先を決めました。お客様のお役に立てた時や、お客様から感謝された時には充実した気持ちになります。また、銀行は保険や信託投資など、目には見えない商品やクレジットなどいろいろな商品を提案・販売するので、お客様にあった商品を紹介・販売して成功した時も嬉しく楽しさを感じます。お客様にとって大切なお金を管理するので正確な処理が必要です。ミスが許されないので責任感が大切です。商品知識、資格取得のための勉強も大変です。